

だれもが、自らの選んだ道を、冒険していける社会へ。

# BSN VISION REPORT

2022

VISION

だれもが、  
自らの選んだ道を、  
冒険していきける社会へ。

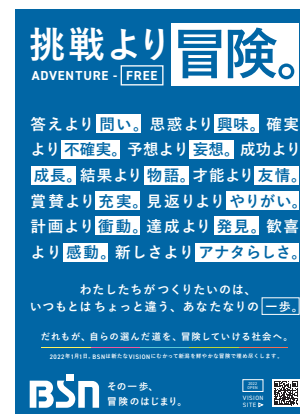
70年前に産声を上げたラジオも、その6年後に“遠くのことを映す箱”＝テレ・ビジョンとして始まったテレビも、その役割は時代とともに大きく変わっています。今、私たちは何者か。誰の期待を受け、何をめざしたいのか。一昨年の社内活動「ビジョンプロジェクト」で私たちは話し合いを重ね、1つの「めざす未来」を見つけ、共有しました。それが、上記「私たちのビジョン」です。

報道活動も、番組制作活動も、営業活動も、私たちの活動のすべては、このビジョン実現のためにあります。人生の主人公であることを、“だれもが”実感できる社会。自分を信じて、その一歩を踏み出していきける

社会。そんな社会の実現をめざし、2022年1月、私たちは同ビジョンを掲げました。

それから1年。私たちは何ができたでしょうか。「VISION REPORT」では、私たちがビジョンに向かって行動した「WORKS」をご報告します。

ビジョン公開  
2022年1月1日



# 走り出せ、夢たち。

小さなきっかけで、何かが始まる。私たちは、その「きっかけ」になりたい。

「走り出す」瞬間に同期したコンテンツが、他の誰かの“何か”を動かせたら。寄り添いたいのは、日常の中にある情熱と、それに触れた人に芽生える「小さな変化」の両方です。取材対象者・視聴者・顧客の「次の一歩」につながるメディアになる。それが私たちの願いであり、仕事への誇りでもあります。

デザインのモチーフは「スタートライン」。多彩な輝きを放つ夢の原石がグラデーションになって詰まっています。それは、タイムマシンの覗き窓から見た「未来」のようにも見えます。

このデザインとタグラインは、70周年イヤーのみならず、BSNのステーションメッセージとして今後も継続していきます。

2022年1月 発表 ロゴデザイン：イナムラシヤ





## BSN 開局70周年企画

県民の夢をテレビ・ラジオ・WEB・SNSで応援する開局70周年企画「#ユメファクトリー」!合計580通の応募を頂きました。厳選された70の夢を、BSNのもつ「つながり」を駆使して独自に応援!あるときは、コロナ禍で発表の場がなかった「なぎなた部」の高校生に発表の場をテレビで演出し、あるときは社交ダンスに励む子供たちにカリスマダンサーのサプライズ指導を提供、あるときはイケメン四銃士が犬の散歩をお手伝いしたりと、「あなたのユメをお手伝いするメディア」として1年間駆け抜けました。

誰かの夢を、別の誰かが応援する。つながっていく、夢の連鎖と、応援の連鎖。「メディア」の意味をあらためて考えました。

集大成の特別番組は、3月15日に、ゴールデン2時間で放送予定です。乞うご期待!



報道部  
酒田 暁子

ユメに向かう応募者の皆さんと、ユメを叶えるお手伝いをしてくださった方々の双方から、たくさんのお礼の言葉が寄せられています。そのたびに、「この企画をやってよかった!」という達成感をスタッフ全員で感じています。これまでに応援したり実現したりしたユメは62!「70」のユメの応援達成と、3月の特別番組放送に向け、さらに勢いをつけて盛り上げていきます。

実施期間：2022年4月1日～2023年3月31日まで



キャラクター  
デザイン  
大塚いちお

BSNキャラクター  
『ハレッタ』です!  
雨の日も晴れの日も  
いつもみんなと一緒にだよ!

ぼくのうたができたよ!  
みんなで聞いて、  
うたってね!



ハレッタのうた「雨のち晴れBoy」

作詞：大塚いちお  
作曲：RAM RIDER  
編曲：RAM RIDER/FILTER SYSTEM  
歌：長谷川 瑞

BSN新潟放送  
公式YouTube  
チャンネルで  
フルVer.公開中!



70周年の節目に、BSNのキャラクターが誕生しました!  
名前は「ハレッタ」。誰もが呼びやすく、弾むような楽しさを感じられ、みんなを元気にするキャラクターに相応しいという想いから、応募7,834通の中から選考されました。幅広い層に認知してもらい、県民とBSNを、さらには新潟を飛び出して世界とBSNをつなぐキャラクターになってほしい、という想いが込められています!末長く愛されるキャラクターと一緒に育てましょう!



大塚いちおさん(上越市出身)  
イラストレーター・アートディレクター

パンダのようだけど、体の模様は黒ではなく、グレーで、耳は半分だけ見える太陽と雲。ハレッタの姿は、新潟の風土がベースになっています。冬場はグレーの空が多く、ネガティブに取られることもあります。雨や雪は豊かな大地を育みます。時には大変な気候だけれど「だからこそ新潟は素敵な場所なんだ!」という思いも込めています。毎日テレビやラジオから僕がデザインしたこのキャラクターで皆さんを笑顔にできたら、とてもうれしいです。



テレビ編成部  
田中 越

2022年7月発表、2022年11月「名前」決定



## 水曜見ナイト「長岡大花火3時間生中継SP」高視聴率獲得(ALL19.3%、世帯29.5%)

## PERSON

テレビ制作  
内藤 亜沙美

長岡大花火が3年ぶりに復活!しかも水曜日にあたるので生中継ができる!不確定要素の多い花火の生中継に震えながらも、多くの県民に楽しんでもらいたい!との思いでチーム一丸となって準備をすすめました。当日は大雨に見舞われましたが番組中は奇跡的に雲が晴れ、美しい映像と迫力あふれる音を届けることができました。演者、スタッフ全員の思いの強さが高視聴率に繋がったと感じています。TVerでも配信され、県民の誇りであるこの花火に込められた平和への思いを全国のみなさんに届けられたことも嬉しく思います。

## なじラテ。同時時間帯で「年間3冠」達成!(個人ALL4.3%、世帯7.9%、Fコア3.1%)

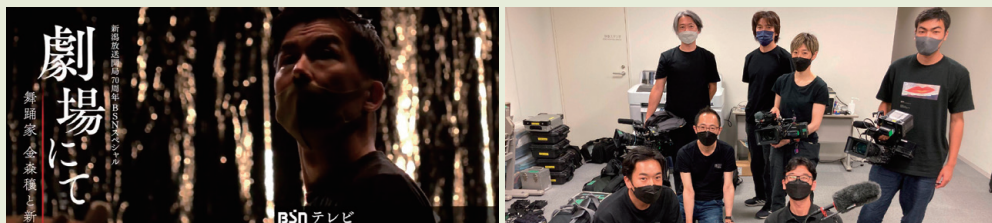
## PERSON

テレビ制作  
平澤 正

「新潟を楽しもう!」が番組コンセプトです。ですので“視聴者”だけでなく“番組スタッフ”が番組作りを楽しめているかが大事だと思います。新潟のグルメやレジャー情報をランキングやクイズ、ゲーム形式といった演出で番組が楽しくなるよう工夫しています。視聴率が良く、多くの視聴者に観てもらった時の達成感はたまりません。

## 開局70周年特別番組「劇場にて」

## PERSON

テレビ制作  
坂井 悠紀

新潟市の劇場専属舞踊団「Noism」と佐渡の太鼓芸能集団「鼓童」。ともに新潟から世界に向けた発信を続ける2つの集団の初共演、その制作の過程に完全密着したドキュメンタリー番組。「地方と芸術」その核心に迫ろうと取材を続け、1時間にまとめた。舞台は、映画のカメラマンを招きシネマカメラ6台で撮影。BSNにとって前例のない新たな挑戦が、圧巻の舞台映像に繋がったと確信している。テレビの更なる可能性を、ここ新潟の地で模索し続けたい。

## 「カメラマンが魅せられた新潟の風景」BS-TBSへ番組販売決定!



視聴者から好評を得ている、「ゆうなび」内人気企画コーナー。山登りが趣味という制作技術部員が自ら4Kカメラと4Kドローンで新潟県内の名峰を高精細撮影。登山客のインタビューや道中の動植物の映像を交えながら、最後はお決まりの、山頂に行ったものしか見ることができない“絶景”が期待を裏切らない。視聴者からDVD化の要望もある中、今まで撮影したものを春夏秋冬バージョンに再編集した30分番組×4本が、BS-TBSへ番組販売することになった。

## PERSON

制作技術部  
五十嵐 祐

## 「新潟シティマラソン」全編 YouTubeライブ配信成功



テレビ局ならではのダイナミックなライブ配信を行おうと6つの中継班を駆使。お笑い芸人やす子さんを応援隊として起用し、マラソン初挑戦の大塩綾子アナウンサーが走りながら元気なリポートを行った。7時間半に及ぶ生配信をやりきり、多くのランナーの活躍を映した。テレビ番組の他に新潟シティマラソンの魅力を広く伝えることができ、主催者から高評価を得た。

## PERSON

テレビ制作部  
町屋 龍平

## VR体験者視点の人頭型撮影装置「お助けトゥモローくん」、2022年JNN技術賞の番組技術部門で最優秀賞受賞



MRグラスに映し出されるCGと、現実の金山の坑道がミックスされ幻想的な世界が広がるアトラクション「佐渡アイランドミラージュ」。ゴゴスマ中継で、視聴者があたかもこのアトラクションを体験しているような映像を届けたいと考え、「お助けトゥモローくん」を開発。手作り感満載のアナログ的な手法ではあるものの、MRグラスをかけた肉眼映像がほぼ再現できた。生放送にこだわり、チャレンジしたことが高く評価され、今年度JNN技術賞番組技術部門で最優秀賞を受賞した。

## PERSON

制作技術部  
鷲尾 徹

## 「そらなび」放送200回→BS-TBS他、コンテンツ販売



2018年10月から4Kドローンで新潟の名所、風景を撮影したテレビ番組「そらなび」をスタート。放送回数は200回を超えた。2020年4月「そらなびDVDブック」発売、2022年3月アーカイブを再編集し30分番組3本制作、BS-TBSへ番組販売。その他、4Kコンテンツの2次利用を目的にアーカイブ映像の販売も始まった。

## PERSON

デジタルメディア部  
北川 義朝



## 2022年 BSNラジオ(+配信&amp;イベント)works

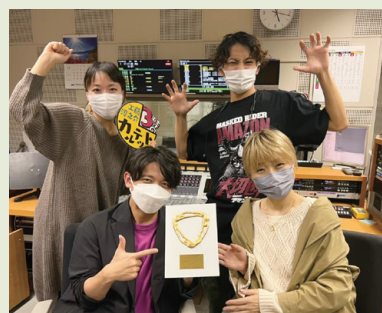
## 「工藤淳之介 3時のカルテット (4/28放送回)」

2022年度 日本民間放送連盟ラジオ生ワイド番組部門の優秀賞を受賞!

## PERSON

ラジオ放送部  
坂井 沖

木曜パートナーのちやい文々さんが乳がん手術から復帰した回の放送。リスナーからたくさん「おかえり」メッセージが届きスタジオも涙…。パーソナリティ、パートナー、スタッフ、そしてリスナーの「四重奏」が評価されました。

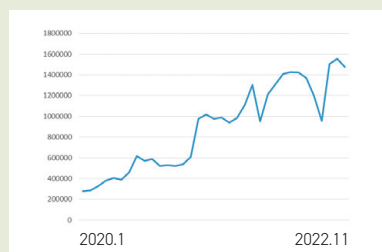


## ラジオの新しい聴き方「radiko」の定着。再生数 月150万再生突破!

## PERSON

ラジオ放送部  
高橋 紀子

ラジオ放送はもちろん、rdiko配信を意識した編成やUI、番組作りで、9月には単月再生回数が初めて150万回を突破。これは一昨年比で200%の伸び率。2020年4月以降、ほぼ毎月新潟県でいちばん聴かれているラジオ局に!



## 夏ラジオ(放送&amp;配信)

## PERSON

ラジオ放送部  
吉田 竜也

“ラジオの現場”ってどんなところだと思いますか?狭いスタジオからこじんまりと?正解です。でも、スタジオを飛び出すこともあるんです。グリーンバックの前で合成をしながらライブ配信なんてことも!コンテンツが増え過ぎて選択肢が多い中、「ラジオなんて…」と言われることもあります。聴覚だけで聴く人の感情をデザインすることは楽しいことです。…いまのところは。



## サクララジオ 2022年3月

## PERSON

ラジオ放送部  
薄田 基子

生放送ディレクションはもちろん、ブッキング・運営・舞台監督までラジオ放送部が担うチャリティコンサートです。これまでに岡本真夜さん、尾崎裕哉さん、沢田知可子さんら趣旨に賛同した多くのアーティストの声が響きました。笑顔の花が咲くようなコンサートに…。そんな想いを込めて桜の季節に開催しています。



## 選挙特別番組「開票天国」(放送&amp;配信)



「わかりやすく面白くテレビではできない選挙番組」をコンセプトにラジオ+YouTubeで衆参選挙3回放送しています。“スマホ中継”“手書きフリップ”等々で経費削減し予算はテレビの10分の1以下!双眼鏡で票を数える開票台調査が名物になりました。リアル視聴1万回超、ローカル局としては異例の再生回数を誇ります。

## PERSON

ラジオ放送部  
吉井 秀之

## レイドバック in 津南町 「山とWONDER」イベント



ありのままのキャンプを伝える「レイドバックライブ」が津南町で初開催された「山とWONDER」とコラボ!企画から参加し、ゲストのライブ演奏、参加者のインタビューでキャンプの楽しさを伝えました。これからも、新潟の四季や地域のポテンシャルを「音」と「写真」で届けていきます。目を閉じて、耳を澄ましてレイドバック…。

## PERSON

ラジオ放送部  
畠澤 弘晃

## 夏休みラジオ工作教室 17年間 継続中!

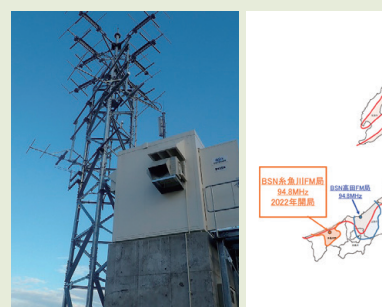


前年度まではAMラジオを作るイベント、今年度からはワイドFM対応ラジオを作っています。県内15会場、小中学生親子のべ450組以上が参加。子供の科学リテラシー喚起、夏休みの宿題解決という地域貢献を、協賛スポンサーとともに実施。あわせて、次世代リスナーの開拓も行ってきました。難しく、面白く、感動できます。

## PERSON

ラジオ営業部  
北川 亮

## FMラジオ放送のエリア拡大 ～糸魚川FM・大和FM中継局 開局～



先輩とともに、FMラジオ中継局の新設を担当した。今年新設した2つの中継局により、FM放送のエリアがさらに拡大、多くのリスナーに、クリアな音声のFM放送を聞いていただきたい。

## PERSON

技術部  
小林 亨有



# 2022年に輝いたコンテンツ&イベント

イケメン四銃士、4年目突入！3rdシングル発表！ディナーショー完売！グッズ好調！  
健康立県アンバサダー就任！イケメンレンタルチャレンジ…新企画続々！

## PERSON



アナウンス部  
工藤 淳之介



新潟発！全国初！？の男性アナダンスボーカルユニット。  
2019年の夏のイベントで1回限りの企画のはずが大反響を受け活動開始！その後、オリジナル曲を3曲リリース、イベントのチケットは即完売、地元企業とのコラボ企画も次々と大成功。決して上司からの指示ではなく「アイドル風のこと男子アナでやったらどう？」という雑談から全てが始まった。自由にチャレンジさせてくれる職場環境や同僚の理解に感謝！活動の詳細はHPやYouTube、SNSをチェック。さらなる飛躍に力を貸してくれる仲間求む！

## 公式YouTube ～スイーツ部、そば部～

## PERSON



デジタルメディア部  
佐藤 秀



アイドルグループのNGT48による「新潟スイーツ部」、長野出身メンバーを中心とした「信越そば部」というVLOGをBSN公式YouTubeで全40話配信。「部員」のアクリルスタンド（15cm程の自立式写真プレート）がNGT公式グッズとして発売され、ファンが「推し（プレート）」と一緒に同じ店で同じメニューを食べる「推し活」がブームに。

## BSNアプリ 10万ダウンロード突破

## PERSON



デジタルメディア部  
白岩 嘉文

2019年4月に誕生した「BSNアプリ」。2022年9月に10万ダウンロードを達成した。  
8月に大幅なデザインリニューアルを行い、ユーザビリティの向上を目指している。スマホでできる「無料ゲーム」も導入し、「使ってもらえる」アプリを目指す。



ダウンロードはこちらから

## プロ野球公式戦 横浜DeNAベイスターズ対読売ジャイアンツ



2009年から毎年、ハードオフエコスタジアム新潟で横浜DeNAベイスターズ戦を開催。現在では、新潟県で唯一のプロ野球公式戦開催となっている。昨年は1万6300人が来場。スタジアムでのプロ野球観戦の迫力や感動は格別。今後も野球ファンのみならず、多くの県民の皆様、特に子供たちに日本の最高峰のプレーをリアルで観ていただく機会を創出していきたい。

## PERSON



事業部  
上村 啓

## ジュラシック大恐竜展2022 in ときメッセ



夏休みのファミリー向け大規模イベント。全長12mのティラノサウルス・スタンの全身骨格を始め、恐竜の化石やリアルに動くロボット11体などを展示。更に化石発掘体験や恐竜に乗ることができる恐竜ライドなど、「観る」だけでなく「体験・体感」できるコンテンツも企画。ウィズコロナ時代に即し、会場内が密にならないようレイアウトを工夫。学びとエンターテインメントを盛り込んだコンテンツが大ヒットし、7万人超の家族連れが来場した。

## PERSON



事業部  
南雲 真

## MINIATURE LIFE展2 ～田中達也見立ての世界～



ミニチュア写真家・見立て作家 田中達也の展覧会。くすくと笑えるユーモア溢れる作品とフォトジェニックな展示がSNSで話題に。テレビ特番の放送などのプロモーションも功を奏し、コロナ禍にも関わらず8万5000人以上が来場。新潟市新津美術館の来場者数新記録を樹立した。今後も幅広い年齢層に親しまれる企画を実施していきたい。

## PERSON



事業部  
小野 朋子

## MRプロジェクト…佐渡MR→VRガーデン商標登録→そして大阪へ



世界遺産登録を目指す佐渡金山で運用中のMRアトラクション「アイランド・ミラーージュ」。ここで培った最先端のXRデジタル技術とVRのコンテンツを活用し、どこでも実施可能なVRアトラクションを開発。「VRガーデン」として商標登録し、パッケージでセールスしている。新潟市内で開催の他、県外での展開の第一弾を大阪で実施。今後、コンテンツホルダーとして全国各地での開催を目指している。

## PERSON



事業部  
長江 洋子



# 08 2022年 報道活動

## ゆうなび／特別番組

### 戦争から逃れて…ウクライナから避難した夫婦が新たなふるさと小千谷市へ

#### PERSON



報道部  
堀 綾菜

ロシアによる侵攻が苛烈さを増した2022年5月、小千谷市に1組の夫婦が逃れてきた。身寄りもなく、言葉もわからない上に、受けられる金銭的支援はごくわずか。『ゆうなび』では夫婦の生活に密着し、その時々を思いを伝えてきた。特に印象深いのは8月、夫婦と一緒に長岡花火を見たことだ。日本でもかつて戦争に使われた火薬は、今は平和を祈る「花火」へと姿を代えて夜空に打ち上げられている。ふるさとを思って2人が流した涙を見て、“戦争は海を越えた遠い国の話ではない”、その思いが改めて強くなった。



### 佐渡金山の世界遺産登録を目指して！～魅力を再発見しその価値を見出す～

#### PERSON



報道部  
山口 牧恵

新潟港から高速船で約60分、かつて“金の島”として栄えた佐渡。その鉱山遺跡を人類の宝として遺していこうと、政府がユネスコへ推薦書を提出したことを契機に制作。非常に高度だった江戸時代の測量術を再現したり、戦前働いていた105歳の女性に当時の活気を伺ったり。前部署のテレビ制作で取材を始めてから足かけ10年の映像素材と知識も生かし、世界遺産としての価値を見つめ直した。知るごとに驚きがある佐渡金山、その魅力は尽きない。



### ど～いん新潟 ～本当に必要？総工費49億円の新潟市の巨大通路～

#### PERSON



報道部  
関根 苑子  
(キャスター)

視聴者の身近な『ど～いん』（どういん？・新潟の方言）を募集し、取材班がその疑問に迫る“ゆうなび”独自のコーナー。今回調査したのは、新潟市の中心部にある巨大地下通路。「49億円もの税金で整備されたのに、利用者がまばら。他に活用方法は？」という視聴者の声に応えるべく、国や新潟を直撃取材。行政の計画の見通しの甘さ、市民の望む姿と大きな差があることが分かった。“弱者の声に寄り添い問題提起する”ゆうなびならではの姿勢を今後も続けたい。



### 参院選特番 ～与野党対決～



全国知名度も高い立民現職と、国政に初挑戦する自民新人の事実上の一騎打ちとなった参院選新潟選挙区。年の初めには野党現職が有利とも言われていたが、結果は自民新人の圧勝。政党の動き、支持団体の動き、党本部の戦略に派閥の駆け引き、公示までの動き、そして失言や外部要因による追い風や向かい風など風を読むかどうか。まさにそれを思い知らされた選挙だった。しかし、人間味も垣間見えて、選挙は面白いなと思ったのも今回の選挙だった。

#### PERSON



報道部  
長岡

## デジタル対応・防災・放送システム

### BSN NEWS DIG Powered by JNN スタート！



全国JNN系列の総力を結集してスタートした『NEWS DIG Powered by JNN』は、各地の最新ニュースを網羅し数カ月で瞬間に全国配信プラットフォームのトップに躍り出た。地元ニュースを世界に魅せる場を得た“地域放送局”の役割と可能性はさらに広がる。「いつでも、どこからでも、知りたい情報に手が届く」放送時間にすら縛られない“命を守るデバイス”としても、常にユーザーのそばにありたいと思う。

#### PERSON



報道部  
山本

### 各自治体との防災協定、進む



これまで15の市町村と防災協定を締結してきた。上越市の防災訓練の際は特集として取り上げ、田上町・弥彦村でも、取材や映像資料制作などで協力。また、8月の村上や関川村を襲った豪雨の際には関川村の村長とリアルタイムで電話を繋ぎ、放送した。今後は平時の時にどう協定自治体と協力していけるかがカギとなる。

#### PERSON



報道部  
酒田

### SNGシステムの更新 ～これからも安定したテレビ中継を！～



BSN31から「BSN51」。SNG中継車の呼称が変わり、2008年のSNGシステムのHD化から15年、SNG基地局と車載局が一新された。機能面での大きな変更点はチャンネル数の増加と4K伝送に対応したこと。最近ではIP中継機器による簡易中継が主流ではあるが、広域災害でのインターネット環境が不安定な状況下でも、安定したテレビ中継が可能である。

#### PERSON



技術部  
堤



## 新潟市広報動画制作 ～ゆきりぬ×新潟観光on&amp;off～

## PERSON

デジタルメディア部  
佐藤

新潟市職員向け「情報発信・SNS活用研修会」の講師を務めたことをきっかけに、市の魅力を首都圏のターゲットに訴求する「PR動画制作+SNS拡散」事業を受託。チャンネル登録者110万人、SNSフォロワー数50万人という新潟市出身の動画クリエイター「ゆきりぬ」さんを起用し、「on(＝観光)」「off(Uターン、移住)」の2つのテーマでPR動画を制作し完成した動画は市の公式YouTubeで公開直後に7万再生を超えるなど大きな反響となりました。



## 長岡高専バーチャルキャンパス構築(プロジェクトマネジメント)

## PERSON

経営戦略室  
田巻 雄治

長岡高専のバーチャルキャンパス構築の公募に、パートナー企業とチームを組んで挑戦、採択された。BSNの役割はプロジェクトの統括マネジメント。アジャイルソフトウェア開発技術者の知識を学び、コンセプト提案から全体の制作管理まで、発注者の思いを最大限形にしていける役割を担った。無事納品できたときの喜びは格別!地域社会に近く、多様なパートナーシップをもつ放送局だからできた「モノづくり」だと思います。



## 地域共創…「にいがたデジタルコンテンツ推進協議会」として、「新潟の地酒と夜空のショーイベントをテーマとしたWEBライブ番組の配信」

## PERSON

デジタルメディア部  
北川 義朝

同メンバーの一員として新潟県の消費喚起・需要拡大プロジェクトに応募し、採択。全体プロデュースの一部を担った。新潟のお酒と花火師さんを応援する企画としてリアル、ドローン花火、VTuber、酒蔵紹介のコンテンツを制作し2022年2月ライブ配信を行った。



## 厚生労働省&amp;BSN主催 ～SAFEコンソーシアムシンポジウム～

## PERSON

営業開発部  
馬場 和明

社会全体で「働きやすい職場をつくる」ことへの理解は進んでいますが、企業によっては人手不足から職場の安全衛生に課題が残っていることも…その解決にむけ「安全で健康に働くことができる職場環境」を考えるキッカケとなるよう、県民にむけて厚生労働省と共にシンポジウムを開催しました。元バレー五輪選手・川合俊一さんによるチーム(組織)の危機管理に関するトークショーなども交えて実施しました。



## にいがたケンジユプロジェクト4年目 ～「からだがよるこぶデリCP」「見附市健幸ウォーク」、他～



新潟県民の健康寿命延伸を目指し、県と提携して活動している「にいがたケンジユプロジェクト」も今年で4年目。今年は「からだがよるこぶデリ」キャンペーンの受託の他、各自治体との連携も多数。「見附市健幸ウォーク」には吉田理彩アナが参加し、男性アナウンサーによるユニット「イケメン四銃士」が「健康立県にいがた」のアンバサダーに就任した。

その他にもラジオやテレビ、イベントなどを通じて、健康寿命延伸のお手伝いを実践。

## PERSON

経営戦略室  
島田 直志

## 新発田市「シニアの社会参加×eスポーツ」のプロデュース・運営・分析



新発田市の「シニアの健康と生きがい創出」という課題に、新潟県eスポーツ連盟他と「ぶよぶよ体験」を提案、採択。BSNは、分析も含めた全体プロデュースとプロジェクト管理を担った。初めてゲームに触れるシニアも多い中、なんとリピーターが続出!これは、サポートでご協力いただいた敬和学園大学学生の皆さんのおかげで、そこが成功の鍵となった。

## PERSON

テレビ営業部  
関川 優

## 長岡市 来迎寺商店街「なぞときイベント」のプロデュース



新潟県の消費喚起・需要拡大事業補助金を活用して、冬場の集客に課題を抱えていた施設や商店街の活性化に「なぞとき」イベントでお手伝い。地元の小学生なども楽しんでいただき、当初の予定を大きく上回る参加者に。商店街の活性に繋がった。

## PERSON

事業局  
丹羽 崇

## 海と日本プロジェクトin新潟



海に密接に関わる新潟県において、次世代を担う子どもや若者が海への好奇心を抱き、海の環境を守るアクションにつながるプログラムを複数実施。アナウンサーがプロジェクトメッセンジャーとして、年間を通じて情報発信を行っている。

## PERSON

営業開発部  
西山 一樹



# 10 地域CSR

## キッズプロジェクト

# BSNキッズプロジェクト

「新潟のこどもたちの未来のために」を掲げて2002年に始まった「キッズプロジェクト」は活動20年を迎えました。放送やWEBを通じて、子どもたちや子育て世代にとって有益な情報や楽しいコンテンツを届け、イベントやワークショップなど、体験の場を

提供する…それを地域の企業や行政、教育機関などと手を取り合って行います。子どもたちに、生まれ育った地域の素晴らしさを体感してもらいたいと思っています。

## キッズフェスティバル2022

PERSON



営業開発 土田 章子

キッズプロジェクトのメインイベント「キッズフェス」はコロナの影響でしばしお休みしていましたが、今回3年ぶりに万代シティで開催!キッズダンスにはたらくクルマ、協賛社ブースにSDGsコーナー、イケメン四銃士やハレッタも駆けつけ、秋晴れの空の下たくさんのファミリーに楽しんでいただけました。リアルってやっぱり最高ですね!



## 本の世界へ2022「絵本をつなぐみなさんへ」

PERSON



アナウンス部 大塩 綾子

絵本を子どもたちに届ける大人を対象としたフォーラム。絵本の専門家(図書館司書・書店店主・地域の絵本館の館主・絵本専門士)によるパネルディスカッションと絵本作家のトークショー、BSNアナウンサーによる読み聞かせを行いました。ハレッタの生みの親、大塚いちおさんも登場!絵本の素晴らしさを、みんなで共有しました。



## にいがたの森あそべんちゃーin阿賀町

PERSON



アナウンス部 吉田 理彩

阿賀町の森の中を、専門家とともに親子で歩く。自然保護の大切さ、気候変動、防災などを学びました。間伐材を利用した燃料(スウェーデントーチ)で炊飯をしたり、オリジナルのボードを作ったり、森の果実をつまんだり…「森がもたらす恵み」を、体と心で、親子に感じてもらいました。



## ふるさとの誇り新潟の技体験ワークショップ



新潟の伝統産業の技術を、職人が直接子どもたちに伝授。3年目。今年は「安田瓦・ミニ鬼瓦作り」と「新潟仏壇・蒔絵体験」を実施しました。子どもたちは地域に根付いた素晴らしい技術に触れ、世界にひとつだけの作品を完成させ感動していました。職人の皆さんも、伝統を守っていくことに誇りを感じるイベントになっています。

## 交通安全ステッカー全小学1年生に贈呈



県内全小学1年生に交通安全のための反射材ステッカーを配布(2019年~)して4年目。子どもたちの安全を願うとともに、家族で交通安全について話し合うきっかけとしてもらい、ドライバーへの優しい運転を呼び掛けています。



PERSON

CSR推進室 田巻 直子

## アナウンサー出前授業、読み聞かせ、リモート放送局見学



学校や地域から依頼を受け、「アナウンサー出前授業」を小中学校15校、「読み聞かせ」を10か所で行い、声と思いを直接伝えました。またウイルス禍対策でスタートしたリモート見学は、今年度12校で実施。オンラインで子どもたちの放送に関する質問に答えました。(アナウンス部とCSR推進室で対応しています)



PERSON

アナウンス部 三浦 萌

## SDGsWEEK、愛の募金

## BSN SDGs WEEK 第1回(2022年2月)



2021年2月にSDGメディアコンパクトに加盟して1年。各部と連携し「BSN SDGs WEEK」を展開。この1週間、ラジオ・テレビ番組で企業・団体等の“身近な取り組み”を紹介したり、17の目標に繋がるアナウンサー・パーソナリティの「私のアクション」を集中的に放送することでSDGsの機運を高めました。



PERSON

編成部 金山 英功

## 愛の募金贈呈&アナウンサー朗読コンサート(2022年12月)



1982年にスタートした「BSN愛の募金」は40年の歴史を持ちます。2022年度は総額400万円を県内の福祉施設やボランティア団体などに贈呈しました。40年の節目に開催した「クリスマス朗読コンサート」では、アナウンサーによる朗読劇と新潟市ジュニア合唱団のクリスマスナンバーをお届けし、来場者からたくさん募金が集まりました。40年間の「BSN愛の募金」は、災害義援金を含め、累計14億4,964万5,962円になりました。



PERSON

CSR推進室 田巻 直子



## 11 社員の働き方

### 部署を横断する「プロジェクト型チーム」の浸透ビジョンプロジェクト ～#ユメファクトリー ハレッタ新キャラ委員会～



ビジョン作成に向けて、部署の垣根を越えてプロジェクトチームを結成!各部の精鋭が集まり、知恵を結集し我が社のビジョンが決まりました。『だれもが、自らの選んだ道を、冒険していける社会へ。』その他、様々なプロジェクトチームを立ち上げ、会社のイメージアップに貢献しています。



人事部 伊藤 圭三

PERSON

### 男性社員の育児休暇、はじまっています!



2021年11月に報道部の長岡記者が男性育休を取得。初めての子育てでも、夫婦2人で専念できたので辛さはなかった、1人だったら大変、と体験を語ってくれました。「新潟のこどもたちの未来のために」というBSNキッズプロジェクトの理念のもと、職場の子育て応援も進めて行きます。

### 初めての長期インターンシップ受入れ(8週間)



バーチャルキャンパス制作のご縁から、長岡高専専攻科1年(大学3年相当)の長期インターンシップを経営戦略室で受け入れることに。様々な会議に参加する傍ら、仕事を簡素化する簡易RPAを幾つも仕上げてくれて、みな大助かり!また彼も、戦略室を通じて見た「今の放送局」に驚くことが多かった模様。互いに刺激を交換しあった8週間でした。



人事部 五十嵐 滋章

PERSON

### Google Workspaceの全社導入



Google Workspaceの導入で社内の情報共有が進みメール・チャット・ビデオ会議などコミュニケーションツールが整いました。コロナ禍のテレワークでも場所や時間を選ばずに快適な環境が用意されています。不明な点はスピード解決するようチャットルームも開設されました。



総務部 小川 未承

PERSON

### 即席サッカーチーム、チャリティ大会で優勝!



北澤豪さんがアンバサダーを務めるチャリティフットサル大会にBSNグループの精鋭を集めて出場!サッカー経験者は少なめでしたが、持ち前の気合いで見事優勝することができました!そしてこの熱戦を経て生まれたメンバー達との“絆”は優勝トロフィー以上に眩しい輝きを放っています。



ラジオ放送部 坂井 沖

PERSON

## 12 語れ。の1年間

### 2021年7月、 ブランディングカンパニー「語れ。」誕生

BSNからの初めての社内起業は、実働2名(+東京1名)で、企業、地域のブランディングのお手伝いをしてきました。2022年の仕事群を抜粋してご紹介します。

PERSON



代表取締役 八木 翔和

PERSON



Branding Company語れ。  
掛橋 哲史

### ヒムグループ 全社デザイン改訂&グループムービー制作



ヒムグループはヒムエレクトロ、新デンシ、帯広電子などのグループ会社からなる、コイル巻線を主軸事業とした企業です。今回、社内のインナーブランディングと中長期での採用を目的としてグループロゴに始まり、各社サイトの改訂、グループムービーの制作をさせていただきました。採用に関しては、Webでの集客施策をメインに採用LPにつながる施策を展開中です。また北海道帯広市での新社屋設立も控えており、さらなる施策強化を伴走していきます。

### 新潟県民電力 新事業コンセプト&商品ネーミング制作



地域密着で格安に電力を供給する新潟県民電力が今後取り組んでいく地域活性化につながる新プランのコンセプトと商品名を制作させていただきました。その名も「Niigata-saien プロジェクト」。自分が使用している電気が地域の環境保護活動や子育て支援などに還元されるという社会貢献性の高い事業を、これからの実際の活動と合わせて愛されるものにするために思案しました。今後の事業周知に関しても伴走していく予定です。

### パブリシティコア MVV策定



新潟の広告代理店として地域を支えているパブリシティコアの社内向け新ビジョン策定プロジェクトについて、アドバイザーとして協力させていただきました。自分たちの役割をもう一度見直そうということで始まったプロジェクトでしたが、普遍的なミッションと、いま目指すべきビジョン、そしてそれを叶えていくバリューという位置付けで整理しながらその言葉と姿勢を共に考えさせていただきました。これから社内やそれぞれの日々の業務に浸透させていく部分まで伴走させていただきたいと思っています。

### 越後ホームズ プロモーション戦略



戸建て販売、不動産売買、中古マンション仲介などを手掛ける越後ホームズ。目的と課題をヒアリングした上で、Web上での調査をしたところ課題の解決には明確なターゲット設計と指名検索を増やすことが先決であるとわかり、TVCMとWeb広告施策を織り交ぜた展開をご提案。その結果、半年間で競合他社を上回る指名検索を獲得し、物件情報サイトへの大幅流入に成功しました。今年からはセンチュリー21の屋号に入り、中長期での新たな施策展開に伴走していく予定です。





その一歩、冒険のはじまり。

株式会社新潟放送が重点的に取り組むゴール

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に  
健康と福祉を



4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいも  
経済成長も



16 平和と公正を  
すべての人に



17 パートナースhipで  
目標を達成しよう

